

横山幸次

区政報告
ニュース

387

2010年5月30日
発行 日本共産党区議団
3802-4627
fax3806-9246
E-mail: arajcp@tcn-
catv.ne.jp
町屋相談室
荒川区町屋5-3-5
3895-0504

横山幸次区議のホームページをご覧ください。
「横山区議」で検索して下さい。

右肩下がり収入減少… 社会的背景がクッキリ

「子どもの貧困」第2弾 10年間で進行…



保育園増設も
子どもの貧困
対策の一環



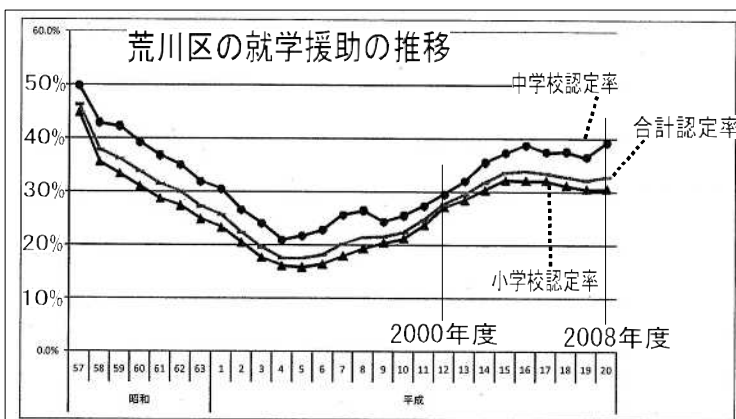
不安定雇用、就学援助増加…
子どもたちの貧困許さない施策を

区の自治総合研究所の「子どもの貧困・社会排除問題」中間報告では、子どもの貧困の社会的背景と区の具体的な施策についても言及しています。子どもの経済的貧困の最大の規定要因が「世帯主の仕事の有無所得の多寡」にあり、「いびつな労働市場」によって子どもの貧困が一段と進行しつつあると指摘しています。下表でもわかるとおり毎年の所得は減少しており、この間、リストラ、派遣切り、非正規雇用の増加など雇用情勢はきわめてきびしい状況が続きました。小泉内閣

	1998年	2001年	2004年	2007年
貧困率	14.6%	15.3%	14.9%	15.7%
子どもの貧困率	13.4%	14.5%	13.7%	14.2%
所得中央値	259万円	240万円	233万円	228万円
貧困線	130万円	120万円	117万円	114万円

等価可処分所得の中央値の半分未満を貧困線に満たないと定義。昨年厚労省が発表した基

以来加速した「構造改革路線」と符合しており、施策の見直しも急がれます。また、区の施策では、現場重視の組織体制、未然の支援、給付システムや就労対策などあげていきます（下囲み）。最終報告を待つのでなく子どもの貧困を許さない対策の実施が必要です。



【政策・施策の枠組みと方向】（中間報告）

- 基本的な価値観の共有化・姿勢の明確化
- 現場を重視した組織体制・相談体制の充実
- 未然の支援、継続的支援、連鎖の解消
- 地域の見守り
- 給付とシステム
- 就労対策
- 制度上の問題点の洗い出し及び改善の検討
- 母子世帯への支援
- 外国人への支援
- 積極的な情報提供



上はピース（平和）という名のバラ、下は町屋駅近くのバラの植栽



都電とバラが織りなす風景は、荒川区内の日常であり、いちばんの見所だと思えます。5月下旬までが見頃のようなのですが、今年はどうでしょうか。天候不順でもう少し見頃が続くかもしれません。春らしい日が少なかった今年ですが、そうこうしているうちに、入れ替わるように5月下旬から紫陽花の

季節に入ります。今度は梅雨と紫陽花。それにしても今年の天候不順と冷夏の予測は、東北、北海道をはじめ農家にとって深刻で、対策が急がれます。ともあれ一時の花巡りもいいものです。横山幸次

まの話題あれこれ
都電のバラは今が盛り…次は紫陽花も混じって
ゆつくり都電の花巡りはいかがですか…

裏面もご覧下さい
区のバリアフリー
基本構想など

定例法律相談

6月7日(月)
午後6時～8時
横山区議事務所

弁護士と横山区議が相談をお受けします。秘密は厳守します。お急ぎの場合は、北千住法律事務所の相談日などご紹介します。生活相談は、随時受け付けています。お気軽にご連絡ください。
TEL&FAX 3895-0504
不在時は、留守電へ、後で連絡します。
区役所控室 3802-4627

荒川区がバリアフリー基本構想案を発表 重点整備の最優先地区に町屋駅・区役所周辺



京成のホームから駅前を望む

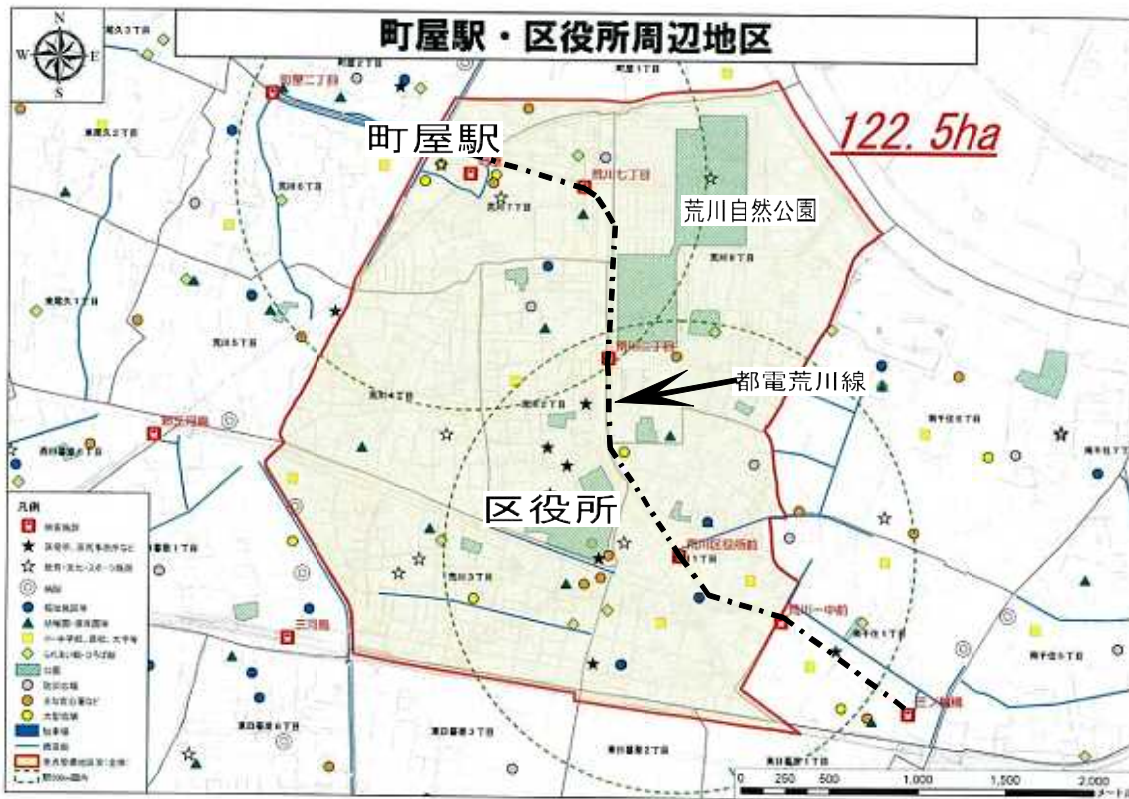
様々な改善はありますが、まだまだです。今回、町屋駅も含めた地区が重点整備地区になったことは、今後改善に向けた一歩だと思えます。しかし、計画図を見ると都電、地下鉄、京成の駅側で線が引かれる、500m範囲である町屋2丁目、荒

主要駅から500m・高齢者、障害者の移動手段を考慮…町屋地域は1丁目の一部…駅前全体の整備はどうなる？

以前、町屋駅を訪れた方から「段差や放置自転車が多く、優しくない」という指摘を受けたことがありました。都電の線路が交差、決して広くない歩道に放置自転車、車道と歩道の段差…などなど多くの「バリア」が横たわっています。

川6丁目は除外されています。やはり、一体的な整備が必要ではないでしょうか。また生活道路などの身近なバリアフリーを後回しにすることなく、優先して改善することも必要です。

みなさんのご意見をお寄せ下さい



お知らせ

荒川区がコンビニで住民票などとれるシステム導入へ

荒川区は、今年度中にセブンイレブンの複合コピー機から住民票をとれるシステムを導入する検討がはじまりました。住民票をコンビニの端末機械で受け取れるまでには、個人情報保護のために、区役所のホストコンピューターにある情報を都内自治体の共同情報センターに専用回線を介して「PDF情報」で送られ、さらに暗号化されてコンビニ側の情報センターに送られ、端末機械に伝えられるというものです。また利用には、専用アプリケーションを入れた住基カードが必要です。住民票は、特殊加工で複写などはできないもので、一通300円、120円はコンビニの収入。荒川区のランニングコストは、年間約500万円になるといいます。



確認した限りでは個人情報もれる心配は、ないということです。しかし、個人情報の保護にうちは、いっそうの検証が必要ではないでしょうか。

分譲マンションの耐震アドバイザー制度実施に

荒川区は、1981年5月31日以前に建設された分譲マンションを対象に（約80棟）建物の調査や耐震技術の助言などを行うアドバイザーの派遣制度を6月から実施します。委員会で報告されたものですが、合わせて、長周期振動への家具転倒防止や備蓄倉庫の設置支援なども事業化するよう求めました。いつ起きるか判らない地震だけに備えたいものです。



くらしの相談などお気軽に

改善されない雇用情勢、中小企業の単価切り下げや資金繰り悪化など深刻な事態が広がっています。医療、介護も深刻です。日本共産党区議団・横山区議は、法律等の専門家、医療・福祉関係者とも連携して相談活動を行っています。

電話 3895-0504 (横山事務所)
不在時は留守電に伝言を
3802-4627 (議員控室)
E-mail: arajcp@tcn-catv.ne.jp